

堀出すなり、

〔出雲風土記楠縫郡〕凡諸山所在草木略○中 人參、

〔續日本紀聖武〕天平十一年十二月戊辰、渤海使己珍蒙等拜朝上、其王啓并方物、其詞曰、略○中 附大虫

皮熊皮各七張、豹皮六張、人參三十斤、蜜三餅、進上、至彼請檢領、

〔七十一番歌合〕六十番 右

藥うり

御藥なにか御用候に。んじ。んかんざうけいしん候、ちんも候、

〔武江産物志藥草〕志村邊ノ産 志村人參野新田 ムカゴ人參同上 鼠山ノ産 ムカゴニンジ

ン下田

〔甲斐國志百二十三〕人參略○中 近時明和二年春、逸見西井出村與兵衛云者、一橋殿ヨリ御種人

參種六十二粒賜ハリ、八岳中央ノ黒壤ヲ運ビ、庭中ニ築圃植之、頗ル應土佳品ヲ出セリ、献上スル

コト十餘年ニシテ、初所賜種子ヲ返納セシカバ、猶又百二十粒永久ニ賜ヒシト云、

〔紀伊續風土記物産三〕人參本草

享保年中、在田郡山保田莊山中に、朝鮮種を培養す、今は絶ゆ、人家には稀に栽る者あり、又直根圓根竹節根の三品は、牟婁日高在田三郡の諸深山、雜木多き陰地に自生あり、

○按ズルニ、人參ノ事ハ、猶ホ方技部藥方篇ニ載ス、參看スベシ、

常春藤

〔多識編二〕常春藤今案於爾末左岐、異名土鼓藤拾遺

〔重修本草綱目啓蒙十五〕常春藤 カベグサ古名 イツマデグサ同上 キヅタ フユヅタ カ

ン。ツタ勢州 一名長春藤秘傳花鏡

藤蔓長ク纏フ、葉互生、形圓扁ニシテ尖リアリ、或ハ三尖五七尖ナルモアリ、其五七尖ナル者ハモミチカヅラト呼ブ、皆冬枯レズ、深綠色ニシテ厚シ、其葉邊紅白相雜ル者ヲニシキヅタト呼ブ、年